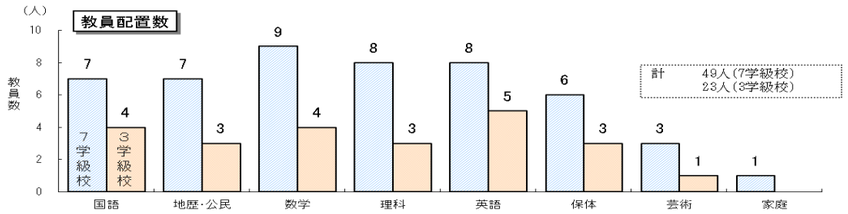
③

学校の小規模化による課題　-「県立学校整備のあり方等に関する報告書」(H28.4)-

１学年３学級以下の学校では、生徒の科目選択や部活動の選択の幅の確保、教員の指導力の有効な活用など生徒の学習環境を整える面からは、さまざまな制約がある。

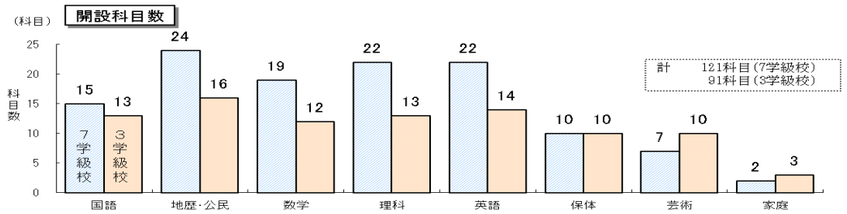
１　各教科の教員配置数と開設科目数

小規模校では、各教科の教員配置数が少ないことから、開設できる科目数が少なくなり、生徒の科目選択希望に十分応えられない。



【参考】

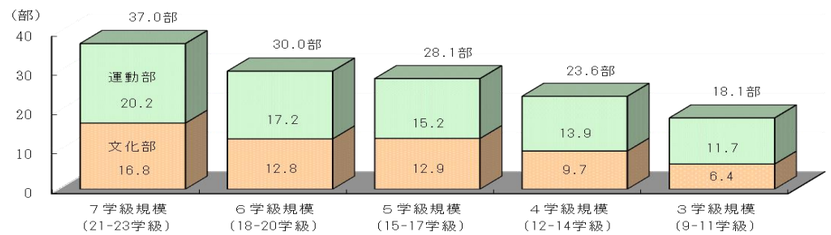
石川県		福井県	
学校名	学級数	学校名	学級数
金沢泉丘	10	藤島	9
金沢二水	10	武生	9
金沢桜丘	9	高志	7



２　生徒の部活動選択

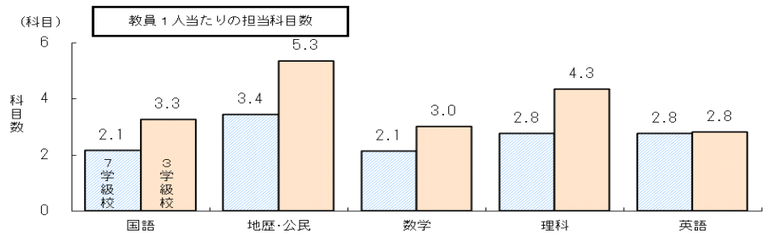
小規模校では、部活動の開設数が少ないことから、生徒の選択幅が狭く、また、団体種目の部活動を多く設けることが難しい。

学級規模別設置部活動数



３　教員の担当科目

小規模校では、教員の担当する科目数が多くなり、教材研究等の授業準備の時間を十分に確保できない場合もある。



（参考）都道府県立高校の望ましい学級規模と平均学級数

各都道府県再編整備計画等に基づいて作成

No	都道府県	区　分	望ましい学校規模（１学年の学級数） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	平均学級数（平成28年4月現在）	順位
1	北海道												3.9	45
2	青森県	青森・弘前・八戸											4.1	42
		上記３市以外												
3	岩手県												4.0	43
4	宮城県												5.2	25
5	秋田県												4.3	39
6	山形県												4.1	41
7	福島県												4.4	38
8	茨城県												5.4	22
9	栃木県												5.3	23
10	群馬県												4.9	29
11	埼玉県	普通科・総合学科											7.0	3
		専門学科												
12	千葉県	都市部											6.6	5
		郡部												
13	東京都												6.3	8
14	神奈川県												7.3	2
15	新潟県												4.8	32
16	富山県												**4.8**	**30**
17	石川県												5.2	26
18	福井県												5.7	18
19	山梨県												5.8	17
20	長野県												5.0	28
21	岐阜県												5.9	14
22	静岡県												5.8	16
23	愛知県												7.0	4
24	三重県												5.8	15
25	滋賀県												5.9	12
26	京都府	学年制											6.0	11
		単位制												
27	大阪府												7.5	1
28	兵庫県	普通科											5.9	13
		総合学科												
		職業科												
29	奈良県												6.5	6
30	和歌山県												5.5	21
31	鳥取県												4.8	31
32	島根県												3.8	47
33	岡山県												6.0	10
34	広島県												4.5	35
		中山間地域												
35	山口県												3.8	46
36	徳島県												5.1	27
37	香川県												5.6	20
38	愛媛県												4.5	34
39	高知県												3.9	44
40	福岡県												6.3	9
41	佐賀県												4.5	36
42	長崎県												4.3	40
43	熊本県												5.7	19
44	大分県												4.8	33
45	宮崎県												5.2	24
46	鹿児島県												4.5	37
47	沖縄県												6.4	7
学級数ごとの都道府県数			0	2	4	34	34	44	40	42	1	1	5.5	